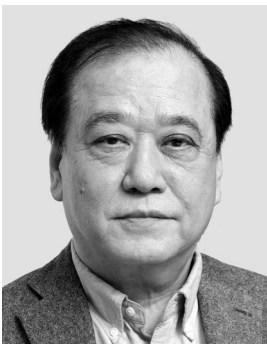


# ポスト・トランプのアメリカ社会と政治

ジャーナリスト 中岡 望  
なか おか のぞむ

- \*米国における分断のDNA
- \*人種差別という宿痾
- \*二つの戦争の本質
- \*アメリカは二つの国
- \*投票率が結果を左右
- \*強固な保守の結合
- \*左派に傾くバイデン政権
- \*予測し難い中間選挙
- \*大きな政府を志向
- \*理想主義的な色彩



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日はすっかりおなじみになりました中岡望先生においでいただきました。アメリカ大統領選挙が終わり、バイデン政権が発足して約2か月が経ちまして、何をしようとしているのかも見えてきました。それから、少し中期に目を向ければ、来年は中間選挙がございまして、共和党と民主党との関係、あるいはトランプが残している支持者たちの動向といったことも今後のアメリカ社会を考えるうえでたいへん重要になってまいります。今日はアメリカを歴史的に見て分断はどこから起きて、これからどうなっていくかも含めてじっくりお話を伺いたいと思います。

それでは中岡先生よろしくお願いたします。

## 米国における分断のDNA

中岡 今日はアメリカについてお話ししたいと思います。よくバイデン政権はどうか、米中関係はどうかなど質問されますし、いろいろなメディアからも執筆依頼をいただいております。目先の動きも大事ですが、同時にその背後にある大きな流れを理解することも必要だと思っています。

選挙が終わってすぐ『週刊エコノミスト』からアメリカの分断について記事を書いてくれと依頼があり、自分の考えをまとめながらアメリカの分断は非常に複雑な形で存在しているということを書きました。実はいろいろな面で分断が起こっている。文化の分断、宗教の分断、教